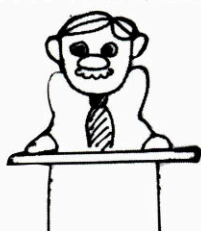


ユーモアあふれる講演 に会場は笑いのうず



市制施行30周年記念行事
長門 勇さんの
「チャンスを活かせ」



十月十七日、市制施行三十周年記念行事のひとつとして、文化講演会が、俳優の長門勇さんを招いて、中央公民館大講堂で開催されました。

会場には、映画やテレビで人気のある著名人の講演を聴こうと、たくさんの方が集まり、満席になりました。

演題は「チャンスを活かせ」

で、「常日ごろから努力しなければチャンスは生まれない」、「努力をしていればチャンスも必然的に生まれ、その時、今まで努力してたくわえた力が活かされる。」など、俳優に至るまでの体験を、ユーモアあふれる話し振りで語り、会場を埋めた聴衆から笑いのうずが巻き起こり、大変なごやかな講演風景でした。

児童の選挙啓発の習字 とポスターを展示!!

山口県と長門市の選挙管理委員会が、共催して募集しております選挙啓発の習字とポスターに、仙崎小学校と向陽小学校の児童のみさんから応募がありました。11月末日まで市役所玄関ホールに展示しています。市役所においでの際には、ぜひご覧ください。

なお、優秀な作品は県の二次審査へ提出中です。

選挙管理委員会では、今後とも市内の各小学校からの応募を期待しております。



「やる気を育てる学校教育」をめざして

長門市学校教育研究大会

二十一世紀に生きる望ましい児童・生徒の育成はどうあるべきかを志向して、去る十月十九日、深川中学校を会場として、市内全教職員二百三十名が一堂に集まり、熱心な研究協議が行われました。

福田市長、阿波教育長の挨拶では、共にハードな物質文明の中で人間性豊かな人と人との触れ合いを大切にすることが、極めて大切であると強調されました。

向陽小、藤本サツエ教諭は、福祉教育実践発表の中で、みがき合い、支え合う学級づくりについて、実情と成果の発表があり、強い感銘と賛同を呼びました。

九大教育学博士村山正治助教授は、児童・生徒指導の極めて斬新な動向として、「悩みごとの整理箱」を用いたカウンセリングについての具体的な実践方法

の講演は、私達に児童・生徒の一人ひとりの接し方と指導のあり方に大切な示唆を与えてくれる内容であり、好評を得ました。午後は、十三の分科会にわかれ平素の研究の交流や悩みを話し合うなど、熱心な討議がかわされました。

会場には、児童・生徒や各先生方の平素の労作物が展示され、また、通中学校の生徒が、平素から一人一鉢として、熱心に育てたみごとな菊の花が飾られ、全体に色どりをそえるなど、一段とうるおいのあるすばらしい雰囲気になってくれました。

この研究大会の成果は、各学校での教育のあり方に反省と前進を求める上で、重要な発表の場となっています。

